

公立八鹿病院整形外科専門医取得プログラム

2023/04/24

指導医は、専門医取得希望者が下記目標を達成するための支援をおこないます

<目標>

1. 手術適応を適切に判断し、主体的に手術をできるようになる
2. 外来で適切な整形外科診療行為を行えるようになる
3. 適切な入院管理ができるようになる
4. 学会報告ができるようになる
5. 地域医療に貢献できるようになる

1 手術分類

A. 指導医なしでできる

大腿骨転子部骨折骨接合術、大腿骨頸部骨折骨接合術、足関節外果骨折、内果骨折骨接合術

B. 指導医のもとに、主体的にできる

人工骨頭挿入術、大腿骨転子下骨折骨接合術、大腿骨骨幹部骨折骨接合術、脛骨骨幹部骨折骨接合術、上腕骨近位部骨折骨接合術、上腕骨骨幹部骨折骨接合術、橈骨遠位端骨折骨接合術、鎖骨骨幹部骨接合術、鎖骨遠位部骨折骨接合術、上肢経皮鋼線刺入術、腱鞘切開術、手根管開放術

C. 手術に入ったことがある

人工股、膝関節置換術

頸椎前方固定、頸椎椎弓形成術、腰椎椎弓切除術、腰椎椎間板摘出術

半月板切除術、半月板縫合術、ACL 再建術

大腿骨遠位部骨折骨接合術、脛骨高原骨折骨接合術、足関節三果骨折骨接合術、中足骨骨折骨接合術、踵骨骨折骨接合術、インプラント周囲骨折、上腕骨通頸骨折骨接合術、橈骨頭骨折、前腕骨幹部骨折骨接合術、中手骨骨折骨接合術、手舟状骨骨接合術

小児上腕骨顆上骨折骨接合術、小児上腕骨外顆骨折骨接合術

神経剥離術 大腿、下腿、足部切断術

2 主治医として経験する目標手術件数（4年間）

	目標手術件数
大腿骨転子部骨折骨接合術	100
大腿骨頸部骨折骨接合術	20
足関節内果、外果骨折骨接合術	20
人工骨頭挿入術	30
大腿骨転子下、骨幹部骨折	8
脛骨骨幹部骨折	5
上腕骨近位部骨折	10
上腕骨骨幹部骨折	5
橈骨遠位端骨折	30
上肢経皮鋼線刺入術	40
腱鞘切開術	30
手根管開放術	10

3 経験すべき疾患（上記手術症例に加えて 主として保存加療）

- A. 腰部脊柱管狭窄症 腰椎椎間板ヘルニア 変形性腰椎症 頸髄症 頸椎症性神経根症
化膿性椎間板炎 脊椎圧迫骨折 骨盤骨折
- B. 変形性股関節症、変形性膝関節症、変形性足関節症
- C. 関節リウマチ リウマチ性多発筋痛症
- D. D. 腱板断裂 変形性肩関節症 上腕骨外上顆炎、内上顆炎
- E. 転移性骨腫瘍 原発性骨腫瘍 軟部腫瘍
- F. 術後感染、軟部組織感染 化膿性関節炎
- G. 敗血症性ショック
- H. 小児上腕骨顆上骨折、上腕骨外顆骨折
- I. ばね指、ド・ケルバン腱鞘炎、手根管症候群 ガングリオン（保存療法）
- J. 上腕骨近位部骨折、橈骨頭骨折、橈骨遠位端骨折、中手骨骨折、鎖骨骨折 脛骨高原骨折
中足骨骨折、足趾骨骨折 足関節捻挫 膝内側側副靭帯損傷（保存療法）

4 習得目標とする手技

- A. 関節内 滑液包注射、穿刺（膝関節、股関節、足関節、肩関節、肘関節、手関節、
- B. 母指 CM 関節、肩峰下滑液包、ガングリオン、ペーカー嚢腫）
- C. 腱鞘内注射 ばね指、ド・ケルバン腱鞘炎
- D. 手根管ステロイド注射
- E. 伝達麻酔（腋窩ブロック）、指ブロック 静脈麻酔
- F. 仙骨裂孔ブロック、腰椎神経根ブロック
- G. 腰椎穿刺、腰椎麻酔
- H. ギプス固定、シーネ固定

5 指導について

目標を達成するために、指導医がどのように支援するのが適切かは、指導を受ける側の性格、吸収力にもよります。また、知識、技能の習得度によっても異なります。

下記を、指導医に3か月毎（6月末、9月末、12月末、3月末）に提出してください

- A. 次の3か月どのような指導を希望するのか、少なくとも1点を記載してください

指導の仕方がなっていない、など漠然とした記載ではなく、〇〇の手術の時にもう少し我慢して手技をみてほしい、など具体的に記載してください

- B. この3か月の自分の反省点を1点だけ記載してください